

第4回
G7 関係閣僚会合誘致推進協議会
資料

茨城県議会事務局

令和4年11月11日（金）

国家公安委員会委員長への要請活動の結果について

1 面会趣旨

本県では水戸市と連携し、G7内務・安全担当大臣会合の成功に向けて、万全の体制で準備を進めることとしており、会合の誘致を後押ししてきた本協議会としても、会合の主管庁である警察庁に対して、会合の成功に向けて連携強化を要請するため。

2 日時等

- (1) 日 時 令和4年11月1日(火) 11時55分から12時15分まで
(2) 場 所 警察庁国家公安委員会委員長室(中央合同庁舎第2号館)
東京都千代田区霞が関2丁目1番2号
(3) 訪問先 谷 公一 国家公安委員会委員長

3 訪問者

茨城県議会議長	伊沢 勝徳
G7関係閣僚会合誘致推進協議会 会 長	海野 透
副会長	中村 修
委員(いばらき自民党)	白田 信夫
委員(県民フォーラム)	齋藤 英彰
委員(公明党)	高崎 進

※ 玉造委員は所用のため欠席。

4 要請書

別添のとおり。

5 主な発言要旨

<海野会長>

- ・内務・安全担当大臣会合の茨城県水戸市での開催決定について感謝申し上げる。
- ・本協議会では国への要望など、これまで会合の誘致に向けて活動してきており、このような、県議会独自に協議会を設置した活動は、誘致を行った他道府県議会では見られないものと考えている。
- ・世界でも日本でも安全・安心が見直される今、国際社会の治安課題を議論する内務・安全担当大臣会合の本県開催には、大きな意義があると考えている。
- ・県と水戸市は、各国閣僚等の参加者に対する心のこもったおもてなしの提供や、茨城・水戸の様々な魅力の世界への発信など、大会の成功に向けて万全の体制で準備を進めていくので、今後の連携強化をお願いしたい。

6 写真



谷 公一 国家公安委員会委員長への要請活動



茨城県

国家公安委員会委員長
谷 公一 様

**G 7 内務・安全担当大臣会合の
成功に向けた連携強化の要請**

令和4年11月1日

茨城県議会

G 7 関係閣僚会合誘致推進協議会

1 今後の開催に向けての連携強化の要請

【情報発信】

- 各国要人等に、歴史と文化が香る自然と調和した都市である水戸市の強みを活かした体験イベントに参加いただくための側面支援
- 来県した各国要人等に、自国にお戻りになってからなど様々な機会において、茨城・水戸の魅力の情報発信をいただくためのご協力

【各国要人等の県内宿泊】

- 各国要人を始め、会合参加の各国代表団やメディアの方々などに、茨城県内へ宿泊いただくための取組などに対するご協力

【警備体制の構築】

- テロ対策等を所管する内務・安全担当大臣会合の開催を踏まえ、安全面をより重視した会場の警備体制構築へのご協力

【感染症対策】

- 新型コロナウイルスの再流行を見据え、感染症対策を踏まえた会場設営等に対するご協力

2 受入体制の整備

会合の開催支援及びおもてなしを円滑に進めるとともに、国内外への魅力を発信するため、2016年G7及び2019年G20の際の対応を参考に今後、推進体制を構築する。

<参考>

G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合推進協議会

- ・目的 官民連携による受入体制の確立
- ・構成員 県、県議会、市、市議会、経済界等の関係団体等 29団体
- ・事業 会合の開催支援、海外要人等へのおもてなし、国内外への魅力発信等

令和4年度11月補正予算案

G7内務・安全担当大臣会合準備事業 R4.11月補正予算額 10百万円

2023年G7内務・安全担当大臣会合の開催に向け、官民連携による推進協議会を設立し、会合の開催支援を行うとともに、各国閣僚等の参加者へ心のこもったおもてなしの提供や茨城の様々な魅力を世界に発信し、地域の活性化につなげる。

令和4年11月11日

営業戦略部長 高崎武夫 殿

G7関係閣僚会合誘致推進協議会	会 長	海 野	透
	副会長	中 村	修
	委 員	白 田	信 夫
	委 員	臼 井	平八郎
	委 員	小 川	一 成
	委 員	川 津	隆
	委 員	館	静 馬
	委 員	星 田	弘 司
	委 員	金 子	晃 久
	委 員	山野井	浩
	委 員	豊 田	茂
	委 員	村 田	康 成
	委 員	齋 藤	英 彰
	委 員	高 崎	進
	委 員	玉 造	順 一

「G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の開催に向けた取組」に関する提言案

世界情勢が不安定化し、世界でも日本でも安全・安心が見直される今、内務・安全担当大臣会合の本県開催は大きな意義がある。

本協議会としては、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の成功に向けて、官民一体となって取り組むことを切に望むものである。

については、本協議会における有識者からの意見聴取及び執行部による説明聴取の結果等を踏まえ、執行部におかれては、下記事項に取り組まれるよう提言をする。

記

1 各国要人等への働きかけに関する取組

- 歴史と文化が香る自然と調和した都市である水戸市の強みを活かした、各国要人等が参加する体験イベントなどの充実を図るとともに、参加者への情報発信の依頼等により、会合開催後の観光誘客の増加につなげるよう努めること。

- 各国要人等に対するおもてなしをするにあたり、全国をリードする本県農林水産業の食材等をレセプションなどで提供するとともに、県産品の販売促進に資するよう、提供した食材等について、会合開催中はもとより、開催後についてもPR活動を行うことを検討すること。
- 各国要人を始め、会合に参加する各国の代表団やメディアの方々などの関係者に県内で宿泊してもらうための効果的な取組を検討すること。

2 広報活動、関連イベントの開催

- 内務・安全担当大臣会合の開催は、茨城・水戸の魅力を国内外へ発信するまたとない好機であることから、テレビ等のマスメディアや、SNS、県公認Vtuberなどのインターネットメディアを効果的に活用した積極的な情報発信を行うこと。
- 小中高生や大学生を含め、県民に国際会議の開催を有意義に感じてもらえるよう、関連イベントの開催については、会合前はもとより、会合後についても検討すること。

3 予算措置、費用対効果等

- 会合の予算については、開催都市である水戸市との負担割合等の協議などの調整を十分に行い、適正かつ効果的なものとなるよう努めること。
- 本県でこれまでに開催されたG7やG20の関係閣僚会合を上回る経済波及効果やパブリシティ効果を得ることを念頭において、開催機運の醸成や会議におけるおもてなし、広報活動などを行うこと。また、会合後は費用対効果などの検証を行うこと。
- 会合の所管は警察庁であり、警備などの安全面はより重要となることから、警察と十分に協議のうえ、開催の支援を行うこと。
- 会合には、海外からも多数の来県者が見込まれることから、新型コロナウイルスの再流行も見据え、国際会議における感染症対策のガイドラインに則り、開催の支援を行うこと。